

令和8年度第2回印西市スポーツ推進審議会会議録

開催日時	令和8年8月21日（金） 午後3時から午後4時50分まで
開催場所	印西市役所 農業委員会会議室
出席者	渡会長、伊東委員、高橋委員、佐々木委員、細谷委員、鈴木委員、塩田委員、三須委員
欠席者	岩井委員、三浦委員
事務局	スポーツ振興課 出山課長、鈴木係長、榎本主査、鈴木主査 公園緑地課 戸部係長、野村主査補
傍聴者	1人
会議内容	
1. 開 会 進行 事務局 2. 委嘱書交付 3. 副市長挨拶 4. 委員紹介(自己紹介) 5. 会長、副会長の選任 6. 議 題 （1）運動・スポーツに関する市民アンケート集計結果報告書について — 事務局説明 — — 質 疑 — 委 員 団体と小学生の部分が付け加わったということで、前回から市民アンケート集計データには新しい部分は特にないという感じですか。 事務局 クロス集計グラフが追加されています。 委 員 クロス集計は性別と年齢別だけですか。 事務局 棒グラフの他に数値を一覧で示した表グラフを使用し、分かりやすくしています。 委 員 クロス集計は、性別・年代別だけでなく、各スポーツ施設への近接性等も含めたほうがよいのでは。 事務局 検討します。 委 員 小学生アンケートで回答数がない学校がありますが、アンケート依頼はどのようにされたのですか。 事務局 小学生アンケートにつきましては、教育委員会を通じて全学校に依頼し、学校から各生徒のタブレットに配信いたしましたが、回答は任意です。 委 員 自由記述については、記述内容をそのまま記載しているのですか。	

事務局 個人情報や明白な誤字を除き、そのまま記載しています。

委 員 国でもこのようなスポーツに関する調査を行っていると思いますが、国の政策との目標値などの整合性はどのように図っていきますか。

事務局 国の基本計画と本市の計画は、同じ策定期間になっており、国の目標値を今回の計画に反映させるのは、物理的に難しいのですが、前回の指標を参考にさせていただき、検討します。

(2) 印西市スポーツ推進基本計画策定について

— 事務局説明 —

— 質 疑 —

委 員 この印西市スポーツ推進基本計画というのは、今後、様々なスポーツ推進施策を市として推進していく計画書という理解でよろしいですか。

事務局 はい。

委 員 20 ページの主な取り組みで、「順天堂大学との連携事業の情報発信」とありますが、ここだけ、その順天堂大学という固有名詞が特定されていて、2 ページでは「順天堂大学をはじめとした教育機関」となっており、最初からの順天堂ありきのような感じになるので、ここも書き方を揃えておいた方がよいのではと思います。

事務局 統一する方向で検討します。

委 員 基本方針の 19 ページの「スポーツ環境の充実」で、施設の計画的な修繕や利用環境の改善いうところで、スポーツ施設は市の西側に偏っているので、利便性という観点で、東側にもアンケートの意見にもあるように、プールやアスレチックなどのスポーツ施設を設置してもよいのでは。

事務局 新たなスポーツ施設の新設となりますと、費用面等の問題があるため難しいとは思いますが、アンケートでの市民の意見というのは、庁内でも共有していきたいと考えています。

委 員 17 ページ、「スポーツを支える人材・団体育成」のところにある、主な取り組みの「総合型地域スポーツクラブ」というのは、どういうものを指すのか教えてください。

事務局 「総合型地域スポーツクラブ」とは、子どもから高齢者まで誰もが多様なスポーツを楽しめ、営利目的の民間スポーツクラブとは違い、地域住民が主体となって運営しているスポーツクラブです。

印西市では、牧の原スポーツクラブがあります。学校の体育館を利用し、ピッ

クルボールやバドミントン等のスポーツを実施しています。

委員 わかりました。今、中央駅近辺を中心に民間のスポーツクラブが大変増えてきており、厳しい会員の獲得合戦を展開していると思いますが、そこを支援してほしいということではなく、資本主義の世の中でスポーツクラブが生き残るために、様々なキャンペーンやその魅力を発信し、会員募集しています。

その民間のスポーツクラブの活力をうまく引き出して、そこに市民を乗せて、実施率を上げてもらう、あるいは健康になっていただく。

そういうその民間スポーツクラブという資産をもっと有効に引き出して使っていこうというようなものは何か含まれているのでしょうか。

事務局 今の時点では、民間のスポーツクラブとの連携としては、市内の屋内プール施設での学校プール開放や、プール授業の実施をしています。

委員 プール開放というところで、印旛明誠高校を開校する際に、県は、あの土地の敷地面積や維持管理費等の問題があり、あの場所においてのプール設置ができませんでした。その時に、案として近くにあるジョイフル本田で、プールの共有はできないかといった話が上がりました。

当時、ジョイフル側も受け入れてくれましたが、ジョイフルの会員側から、自分たちは会員として高い会費を払って利用している訳ですから、それはやめてほしいという意見が出て、最終的に許可されなかった経緯があります。

ただ、現代となりましては、あるものを共有して、いかに落としどころを作り、子どもたちの将来における安心、安全、体力づくりといったところは見直しができる時代になったのかなと考えております。

しかし、やはりプールの建設というのは、市に一から作ってもらうのは難しいと思います。ただ、これができないといったところをいかに連携していくのが課題なのかなと思います。

委員 今、印西市全体として、外国人の人口が増えていると市民として感じております。この基本計画においても、そういう外国人の市民の方、あるいはその日本国籍ではなくても、ここで生活あるいはお仕事をなさっているような方々をインクルージョンするような、そういう視点、18ページの基本方針4に「スポーツを通じた共生社会」とあり、ここでは障害者スポーツとかユニバーサルスポーツというところは触れられていますが、グローバルな視点でいうと、国際交流とか異文化理解をするための一つのエリアにスポーツはなり得ると思います。

スポーツを通じて異文化理解をするという、そういう視点もこの基本計画の中のどこかに入れておいた方がいいのではないかと思います。

委員 この基本方針等を拝見すると、これは印西市のという部分がありません

のではないのかなと正直思っていました。

例えば、今、意見があった外国籍の方が増えている状況や、子育て世代へのスポーツの取り組みが少ないのではないかという意見もあったと思います。

おそらく印西市が人口増加しているという背景に様々な世代の方が流入されている。それ以外にもあると思いますが、そうした状態の中から出てきていることが課題だと思うので、これを全部変えるというのは難しいと思いますが、印西市ならではというか、印西市だからこそ必要な部分というのをもう少し見えるようにしていただけると良いのではないかと思いますので、ぜひご検討いただければと思います。

それと、前回の計画にあった成果指標的なものが、今回の計画にも入るということでしょうか。

事務局 はい。

委 員 総合型スポーツクラブができた本来の目的は、牧の原地区などにおいて、スポーツを通じた高齢者から子どもまでの地域交流やコミュニティをつくることでした。

ユニバーサルスポーツなどの体験教室が開かれても、個人がその場で体験して終わってしまい、持続的なつながりに発展しにくい。

イベントや教室をただ用意して支援するだけでなく、人が集まる場をつくりサークルへ発展させ地域全体で育てていくということが大切な気がします。

(3) その他 「松山下公園野球場スコアボード使用料の設定方針について」

— 事務局(公園緑地課職員)説明 —

— 質 疑 —

委 員 初歩的な質問ですが、このスコアボードというのは利用者が操作するものなのですか。

事務局 はい。基本的には施設の貸出しになりますので、本部席のパソコンから操作となりますが、タブレットを持ち出してベンチで操作することも可能となります。

委 員 今まで、スコアボードは現場で誰かがやっているのかと思っていました。

事務局 以前は本部席で操作しておりましたが、選手名も入力できるようになりましたので、使い勝手は良くなるかと思います。

委 員 今回の回収に伴い有料化するのですか。

事務局 はい。今まではスコアボード利用料はとっていなかったのですが、改修工事をいたしまして設備を新調したことから、受益者負担の観点からこの機会に有料化にしたいと考えております。

委 員 市外の方も利用可能ですか。また、スコアボードに対しては市外と市内団体の料金は同じですか。

事務局 市外の方も利用可能となり、料金は今のところ同額としています。
野球場やテニスコートの使用料については、市内・市外の料金差を設けていますが、照明等の付帯設備については、同額としているため、付帯設備あるスコアボードについても整合を図りました。

委 員 他の自治体の野球場データを拝見しますと、「なごみの米屋ぴーちゃんフィールド」や「京葉ガス」などのネーミングライツビジネスが各自治体でかなり進んでいることに驚きました。印西市はどのようなネーミングライツ契約を行っているのでしょうか、あるいは検討されていますか。

事務局 現時点でネーミングライツ契約を行っている市の施設は無いと思います。

委 員 野球場を利用すると、必ずスコアボードを使用しなければならないのですか。

事務局 練習だけであれば、スコアボードは不要と思いますが、大会等の試合であれば、スコアボードは必要と考えております。そのため、スコアボードは使用する場合のみの料金設定としたいと考えています。

委 員 大会等での利用が想定されるということであれば、個人での負担は大きくはならないと考えられますね。

事務局 はい。スコアボードについては大会での利用が主になると思います。

4. その他 ・次回の開催予定について

5. 閉 会

以上

令和８年８月２１日に開催された、令和８年度第２回印西市スポーツ推進審議会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和８年９月１２日

署名委員 渡 正

署名委員 高 橋 徹